

Luxman

COMPACT DISC PLAYER

D-38u

Owner's Manual

このたびは、ラックスマンのCDプレーヤー D-38uをお求めいただきまして、誠にありがとうございます。

NHKがラジオの本放送を開始した1925年、錦水堂ラジオ部として創業されたラックスマンは、80余年にわたって数多くの製品をオーディオファンや音楽ファンに届けてまいりました。その間、いつの時代にあってもオーディオと音楽を愛する人たちの熱い心は変わりませんでした。

音楽に込められたアーティストの情念を余さず忠実に再現する、そのときの感動の深さと機器への愛着の深さこそがオーディオにとっての最高の価値であると私たちは考えます。

縁あってラックスマン製品をお選びいただきましたことは、オーディオと音楽に対して私たちと同じ情熱と価値観を共有できることであると、心から嬉しく思っております。

本機を正しく安全にお使いいただくため、ご使用前に必ずこのオーナーズマニュアルをよくお読みください。それによって本機の性能が十分に発揮され、最高のグレードで音楽再生をお楽しみいただくことができます。お読みになった後は保証書、安全上のご注意と共に大切に保管してください。

末永くご愛用いただきますよう、お願い申し上げます。

目次

使用上の注意	1
お使いの前に	3
各部の名称と用途	5
接続方法	11
操作方法	13
ブロックダイアグラム	15
規格	16
アフターサービスと品質保証について	17
修理に出される前に	18

使用上の注意

再生中は本機を絶対に動かさない

再生中はディスクが高速回転していますので、本機を持ち上げたり動かしたりしないでください。ディスクを傷つける恐れがあります。

本機を移動する場合

本機を移動する場合は、必ずディスクを取り出しディスクテーブルを閉じてください。さらにオペレーション・スイッチを押し、本体のパイロットランプが消えてから電源ケーブルを抜いてください。ディスクを内部に入れたまま移動すると、故障の原因になります。

設置する場所

外部からの振動が無く、換気や放熱が十分行われる場所に設置してください。とくに、直射日光の当たる場所、ストーブのすぐそばなど高温になる場所、湿気の多い場所、ホコリの多い場所などに設置すると、故障の原因になることがあります。このような場所への設置は避けてください。

ガラスドア付きラックに入れたときのご注意

ラックのガラスドアを閉めたままリモコンのオープン/クローズ (△) ボタンを押してディスクテーブルを開けないでください。ディスクテーブルの動きが妨げられ、故障の原因になります。

本機を使わないときは電源を切る

テレビ放送の電波状態により、本機の電源を入れたままテレビをつけると画面にしみ模様が出る場合がありますが、本機やテレビの故障ではありません。このような場合は本機の電源を切ってください。ラジオの音声の場合も同様にノイズが入ることがあります。

結露について

冬期などに本機を寒いところから温かい室内に持ち込んだり、本機を設置した部屋の温度を暖房などで急に上げたりすると、内部（動作部やレンズ）に水滴が付きます（結露）。結露したままでは本機は正常に動作せず、再生ができません。結露の状態にもよりますが、本機の電源を入れて1～2時間放置し、本機の温度を室温に保てば水滴が消え、再生できるようになります。夏でもエアコンなどの風が、本機に直接あたると結露がおこることがあります。その場合は本機の設置場所を変えてください。

レンズのクリーニングについて

レンズにゴミやほこりがたまると、音飛びすることがあります。このような場合は『アフターサービスと品質保証について』（17ページ）をお読みのうえ、清掃をご依頼ください。市販されているクリーニングディスクは、レンズを破損する恐れがありますのでご使用にならないでください。

お手入れについて

お手入れは、市販のクリーニング・クロスなどの柔らかい布で拭いてください。汚れがひどいときは、中性洗剤を少量含ませた柔らかい布で汚れを落とし、乾いた布で拭き取ってください。なお、ベンジン、シンナーなどの溶剤は、外観を損ねるため使用しないでください。

ディスクの取り扱い方

- ・損傷のあるディスク（ひびやそりのあるディスク）は使用しないでください。
- ・ディスクの信号面にキズや汚れを付けないでください。
- ・ディスクに紙やシールなどを貼り付けないでください。ディスクにそりが発生し、再生ができなくなる恐れがあります。また、レンタル・ディスクはラベルが貼ってある場合が多く、のりなどがはみ出している恐れがありますので、のりなどはみ出しがないことを確認してからご使用ください。
- ・ディスクを2枚重ねて再生しないでください。

■保管

- ・必ずケースに入れ、高温多湿の場所や直射日光の当たる場所、極端に温度の低い場所を避けて垂直に保管してください。
- ・ディスクに付いている注意書は必ずお読みください。

■ディスクのお手入れ

- ・ディスクに指紋やホコリが付いた場合、音質が低下することがあります。柔らかい布で内周から外周方向へ軽く拭いてください（円周に沿って拭かないでください）。
- ・ベンジン、シンナーなどの揮発性の薬品は使用しないでください。またレコード・スプレー、帯電防止剤などはご使用できません。
- ・汚れがひどいときは、柔らかい布を水に浸し、よく絞ってから汚れを拭きとり、その後乾いた布で水気を拭きとってください。

■特殊な形のディスクについて

本機では、特殊な形のディスク（ハート型や六角形等）は再生できません。故障の原因になりますので、そのようなディスクはご使用にならないでください。

修理・調整について

修理、調整などが必要なときは、お買い上げの販売店、もしくはお近くの弊社サービス・センターへご依頼ください。

安全上のご注意



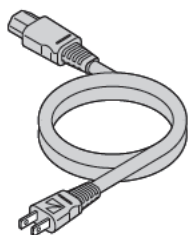
本機は重いので、開梱や持ち運び、設置の際は充分にご注意ください。

お使いの前に

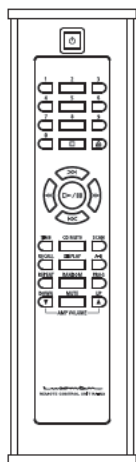
付属品の確認

箱から出したら次の付属品がそろっていることを確認してください。

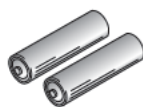
- 電源コード (JPA-10000)



- リモートコントロールユニット (RA-N3)



- 単4形乾電池 (2本)

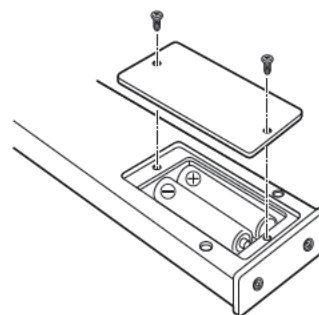


- ⊕ ドライバー
- 保証登録書
- 安全上のご注意
- 取扱説明書 (本書)

リモコンの準備

リモコンに乾電池を入れる

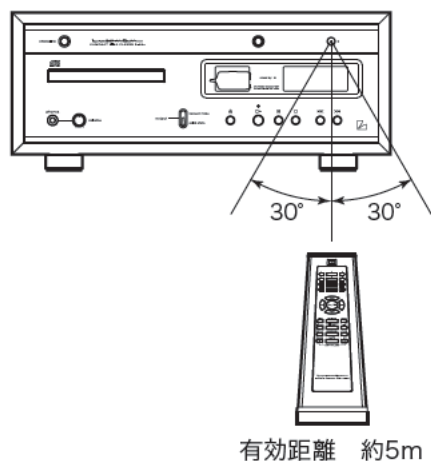
1. リモコンの裏面にあるバッテリー・カバーをはずしてください。
付属の⊕ドライバーを使って上下2ヶ所のねじをはずします。
バッテリー・カバーとリモコン本体のすき間にツメを入れて軽く持ち上げ、そのままバッテリー・カバーをはずしてください。
2. バッテリー・ケースの中の図と同じように電池の⊕⊖を合せて単4乾電池を入れます。
3. バッテリー・カバーをはずしたときと逆に、バッテリー・カバーをリモコン本体の真上から落とし込むようにはめ、付属の⊕ドライバーを使って上下2ヶ所をねじで固定します。



-
- ・ 新しい乾電池と一度使用した乾電池を混ぜて使用しないでください。
 - ・ 乾電池は同じ形状でも電圧の異なるものがあります。種類の違う乾電池を混ぜて使用しないでください。
 - ・ 長い間 (1ヵ月以上) リモコンを使用しないときは、電池の液漏れを防ぐため、乾電池を取り出してください。もし、液漏れを起こしたときは、ケース内についた液をよく拭きとってから新しい乾電池を入れてください。
 - ・ 不要になった電池を廃棄する場合は、各地の地方自治団体の指示 (条例) に従って処理してください。
-

リモコンの使用範囲

リモコンはプレーヤー本体前面部のリモコン受光部に向けて操作します。プレーヤーからリモコンの距離は約5m、またリモコン受光部を基準にして左右30°までの範囲で操作できます。



リモコン受光部に直接日光や強い光を当てないようにしてください。誤動作の原因となります。

安全上のご注意

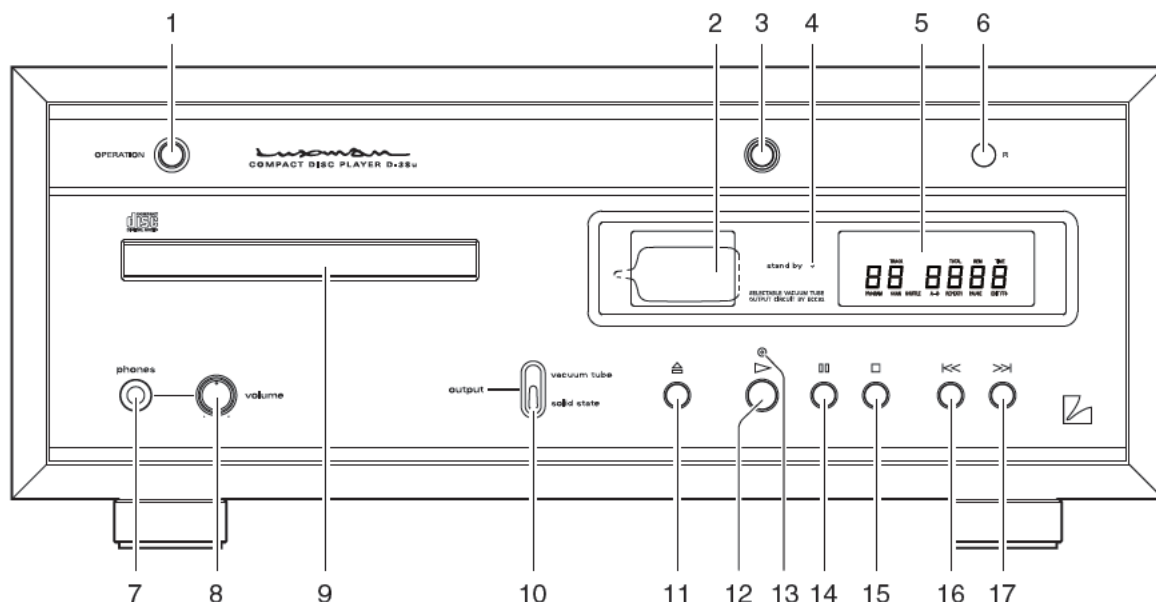
注意



付属のアルミ製リモコンは重いので、高い所から落としたりすると、家具や床を傷つけたり、人に当たってけがをすることがあります。不安定な場所に置かないなど、充分にご注意ください。

各部の名称と用途

本体正面



1. オペレーション・スイッチ (OPERATION)

スタンバイ状態（待機状態）のときにこのスイッチを押すとスタンバイ・インジケータ（stand by）が点滅し、真空管の予熱を開始します。一定時間（約 30 秒間）経過するとスタンバイ・インジケータ（stand by）が消灯し、音声出力可能な動作状態になります。動作状態のときにもう一度このスイッチを押すとスタンバイ状態になります。

オペレーション・スイッチ（OPERATION）を ON にしてから実際に音声出力されるまでは、真空管の予熱のため、一定時間（約 30 秒間）ミュート（消音）状態となっています。この時間中、ディスクの再生操作を行っても音声は出力されません。

2. 真空管照明

真空管出力回路に使用されている ECC82 (12AU7) をライトアップする照明です。出力切替スイッチ(output)を真空管 (vacuum tube) に切り替えたときに点灯します。

5. ディスプレイ

ディスク再生時のトラック番号、経過時間 / 残量時間、その他の機能の状態表示を行います。

3. パイロットランプ

オペレーション・スイッチ（OPERATION）を押すと同時に橙色に点灯します。

6. リモコン受光部 (R)

付属のリモコンからの赤外線信号を受信するためのセンサーです。センサーの前はふさがないようにしてください。

4. スタンバイ・インジケータ (stand by)

本体後面の AC インレット (AC IN) に、AC100V 家庭用コンセントから電源ケーブルを接続すると、橙色に点灯し、本機がスタンバイ状態（待機状態）であることを示します。

7. ヘッドフォン・ジャック (phones)

ステレオ・ヘッドフォンで本機の音声を聴くときに、この出力ジャックにヘッドフォンのプラグを差し込んでください。

8. ヘッドフォン・ボリューム (volume)

ヘッドフォン・ジャック (phones) に接続したステレオ・ヘッドフォンの音量を調節するためのつまみです。このつまみで本体後面のアナログ出力端子 (ANALOG OUT) やデジタル出力端子 (DIGITAL OUT) の音量を調節することはできません (出力レベルは常に一定です)。

9. ディスクテーブル

ディスクを入れるためのテーブルです。ディスクを出し入れするときに、オープン/クローズ・スイッチ (△) で開閉します。

10. 出力切替スイッチ (output)

アナログ出力回路を切り替えるためのスイッチです。好みの音質をお選びください。

真空管 (vacuum tube) :

出力バッファーに真空管 ECC82 (12AU7) を使用した回路の出力を選びます。このとき、真空管照明が点灯します。

半導体 (solid state) :

出力バッファーに半導体 (IC アンプ) を使用した回路の出力を選びます。このとき、真空管照明が消灯します。

11. オープン/クローズ・スイッチ (△)

ディスクテーブルを開閉するときに押します。

12. プレイ・スイッチ (▶)

ディスクの再生を開始します。

13. プレイ・インジケーター

ディスクを再生しているときに点灯します。ポーズ・スイッチ (□□) を押したとき (一時停止状態) は点滅します。

14. ポーズ・スイッチ (□□)

ディスクの再生中に押すと音声が一時的に停止します。

15. ストップ・スイッチ (□)

ディスクの再生を停止します。

16. プレビース・スイッチ (◀◀)

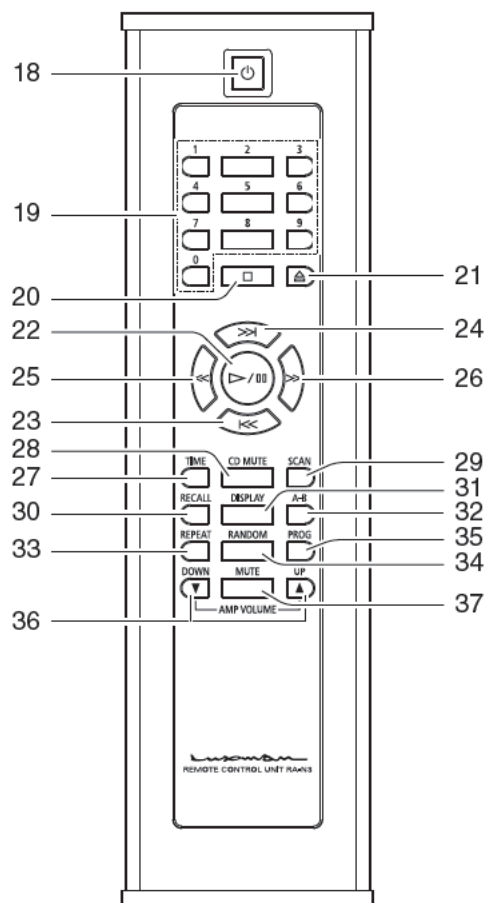
現在再生中のトラックの先頭に戻ります。2回押すと前のトラックの先頭に戻ります。ディスクの最初のトラックを再生中に2回押すと、最後のトラックに移動します。

17. ネクスト・スイッチ (▶▶)

次のトラックの先頭に進みます。ディスクの最後のトラックを再生中に押すと、最初のトラックに移動します。

各部の名称と用途

リモコン (RA-N3)



18. オペレーション・スイッチ (⏻)

スタンバイ状態（待機状態）のときにこのスイッチを押すとスタンバイ・インジケータ（stand by）が点滅し、真空管の予熱を開始します。一定時間（約 30 秒間）経過するとスタンバイ・インジケータ（stand by）が消灯し、音声出力可能な動作状態になります。動作状態のときにもう一度このスイッチを押すとスタンバイ状態になります。

19. 数字キー (1 ~ 9, 0)

直接トラック番号を指定して再生するときや、プログラム再生時にトラック番号を指定するときのためのスイッチです。

10 トラック目以降を指定する場合は、まず 10 の位の数字キーを押し、2 秒以内に 1 の位の数字キーを押してください。

(15 トラック目を指定して再生する場合：“1” を押して 2 秒以内に “5” を押す)

20. ストップ・スイッチ (□)

ディスクの再生を停止します。

21. オープン / クローズ・スイッチ (⏮)

ディスクテーブルを開閉するときに押します。

22. プレイ / ポーズ・スイッチ (▶ / ⏮)

ディスクの再生を開始します。ディスクの再生中に押すと音声が一時的に停止します。もう一度押すと再生を再開します。一時停止中は、プレイ・インジケータが点滅します。

23. プレビアス・スイッチ (⏮)

現在再生中のトラックの先頭に戻ります。2 回押すと前のトラックの先頭に戻ります。ディスクの最初のトラックを再生中に 2 回押すと、最後のトラックに移動します。

24. ネクスト・スイッチ (▶)

次のトラックの先頭に進みます。ディスクの最後のトラックを再生中に押すと、最初のトラックに移動します。

25. 早戻しスイッチ (<<)

再生中のトラックを早戻しするためのスイッチです。早戻し中、音声は出力されません。スイッチを離すと通常速度の再生に戻ります。

26. 早送りスイッチ (>>)

再生中のトラックを早送りするためのスイッチです。早送り中、音声は出力されません。スイッチを離すと通常速度の再生に戻ります。

27. タイム・スイッチ (TIME)

再生中にこのスイッチを押すたび、“再生中のトラックの残り再生時間”、“ディスク全体の残り再生時間”、“再生中のトラックの再生経過時間”の順にディスプレイ表示が切り替わります。

28. CD ミュート・スイッチ (CD MUTE)

本機からの音声出力を一時的に消音するためのスイッチです。CD ミュート中はディスプレイのトラック表示と時間表示の間の再生表示（右向きの三角）が点滅します。CD ミュート中にもう一度押すと消音が解除されます。

なお、CD ミュートの状態に関わらず、再生中のディスクは再生され続けます。

29. スキャン・スイッチ (SCAN)

ディスク内の全てのトラックをイントロ再生するためのスイッチです。ディスクの再生が停止している状態でこのスイッチを押すと、全てのトラックの頭が10秒間ずつ再生され、最後のトラックの頭を再生後に停止します。イントロ再生中はディスプレイの“SCAN”表示が点滅します。

30. リコール・スイッチ (RECALL)

直前に再生していたトラックをもう一度再生するためのスイッチです。

31. ディスプレイ・スイッチ (DISPLAY)

本体ディスプレイの輝度を調節するためのスイッチです。スイッチを押すたびに3段階で明るさが切り替わります（完全消灯はしません）。

32. A-B スイッチ

ディスクの特定の範囲を繰り返し再生するためのスイッチです。再生中に繰り返し再生をしたい最初の位置でまずスイッチを一度押します。このときディスプレイの“A→”表示が点滅します。そのまま繰り返しを終えたい位置でもう一度スイッチを押すと、ディスプレイの“A→B”表示が点灯し、始まりと終わりの位置を指定した範囲で繰り返し再生を開始します。

繰り返し再生中、もう一度（3回目）スイッチを押すと繰り返し再生が取り消され、通常の再生に戻ります。

なお、この機能はディスクの再生が停止している状態では働きません。

33. リピート・スイッチ (REPEAT)

特定のトラック、またはディスク全体を繰り返し再生するためのスイッチです。再生中にスイッチを押すと、ディスプレイの“REPEAT1”表示が点灯し、そのとき再生していたトラックを繰り返し再生します。もう一度スイッチを押すと、ディスプレイの“REPEAT”表示が点灯し、ディスク全体を繰り返し再生します。

繰り返し再生中、もう一度（3回目）スイッチを押すと繰り返し再生が取り消され、通常の再生に戻ります。

なお、この機能はディスクの再生が停止している状態では働きません。

34. ランダム・スイッチ (RANDOM)

ディスク中のトラックを無作為な順番で再生するためのスイッチです。スイッチを押すとディスプレイに“SHUFFLE”表示が点灯し、ランダム再生を開始します。全てのトラックの再生が終わると再生を停止します。もう一度スイッチを押すと通常の再生状態に戻ります。

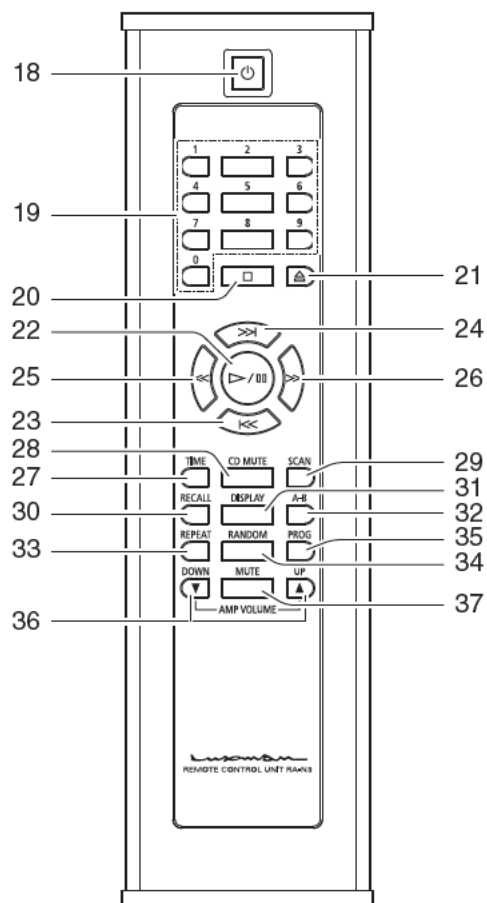
35. プログラム・スイッチ (PROG)

ディスク中のトラックを自分の好きな順序で再生するためのスイッチです。

詳しい操作方法は13ページを参照してください。

各部の名称と用途

リモコン (RA-N3)



36. アンプ・ボリューム・スイッチ

(AMP VOLUME, UP, DOWN)

対応したアンプの音量を調節するためのスイッチです。

37. アンプ・ミュート・スイッチ (MUTE)

対応したアンプの音量を一時的に消音するためのスイッチです。ミュート中にもう一度押すと消音が解除されます。

リモコンによるアンプの音量調節は 2009 年 10 月現在プリメインアンプ SQ-38u、SQ-N100 に対応しています。

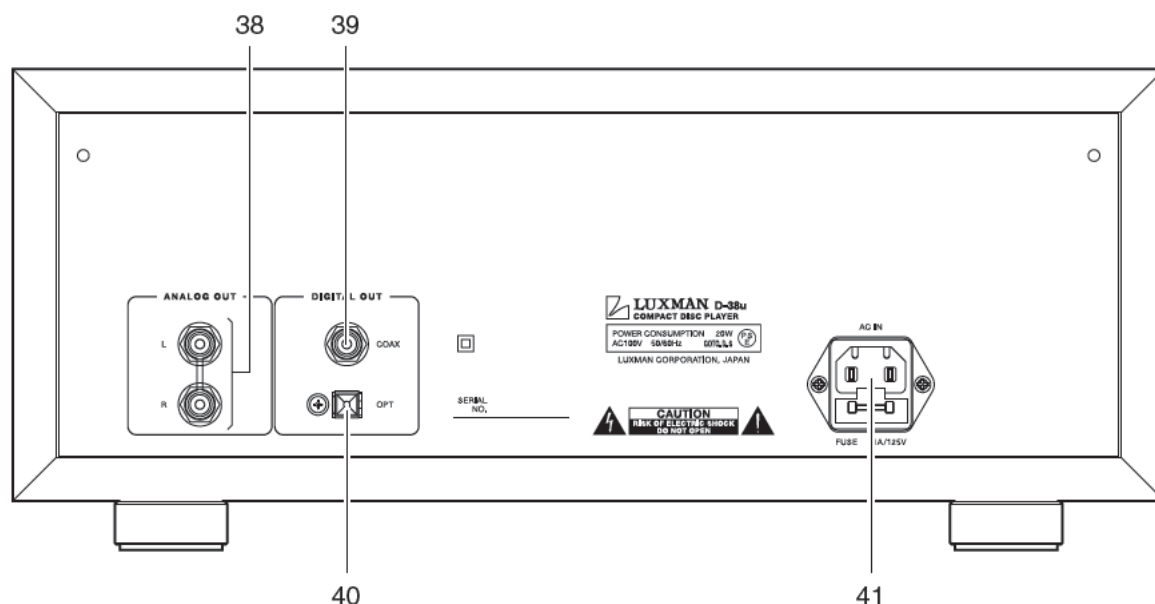
安全上のご注意

⚠ 注意



付属のアルミ製リモコンは重いので、高い所から落としたりすると、家具や床を傷つけたり、人に当たってけがをすることがあります。
不安定な場所に置かないなど、充分にご注意ください。

本体後面



38. アナログ出力端子 (ANALOG OUT)

アナログ音声を出力する端子です。プリメインアンプやプリアンプなどのアンバランス・ライン入力端子にRCAタイプのピンプラグケーブルで接続してください。

39. デジタル (同軸) 出力端子 (DIGITAL OUT, COAX)

同軸タイプのデジタル音声を出力する端子です。D/Aコンバーターやデジタルアンプなどの同軸デジタル入力端子に同軸デジタルケーブルで接続します。

40. デジタル (光) 出力端子 (DIGITAL OUT, OPT)

光タイプのデジタル音声を出力する端子です。D/Aコンバーターやデジタルアンプなどの光デジタル入力端子に光デジタルケーブルで接続します。

出荷時には端子を保護するためのキャップを装着しています。キャップをはずしてからケーブルを接続してください。

41. AC インレット (AC IN)

付属の電源ケーブルを接続します。電源はAC100V家庭用コンセントを使用してください。

接続方法

接続する前に

他の機器を接続する前に、付属の電源ケーブルのジャック側（穴が3つある方）を本機の AC インレット（AC IN）に接続してください。

電源の接続

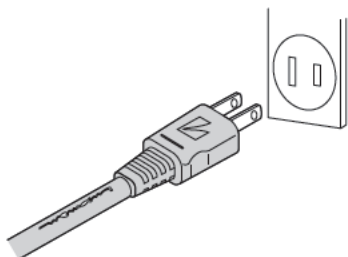
付属の電源ケーブルのプラグ側（ピンが2つある方）を AC100V 家庭用コンセントに差し込んでください。このとき、下記の通り電源の極性を確認してください。

電源極性の合わせ方

一般家庭用の 2 極の AC コンセントは一方がアース、もう一方が AC100V となっており、電源ケーブルのプラグを正しい向きに差し込むことで、電源の極性が一致し、より高音質な音楽再生を楽しむことができます。

本機に付属の電源ケーブルでは、ケーブル上の「Luxman」の文字が書いてある方を上向きにして AC コンセントに差し込むとプラグの左側端子が接地側となり、電源極性が正しく設定されます。

一般的に AC コンセントは、向かって左側の若干長い穴が接地用端子（W 表記）になっています。



※ AC コンセントのアース側が区別されていないときなど、どちらの向きに電源プラグを差し込んでも本機の基本性能に影響はありません。

アンプへの接続（アナログ出力）

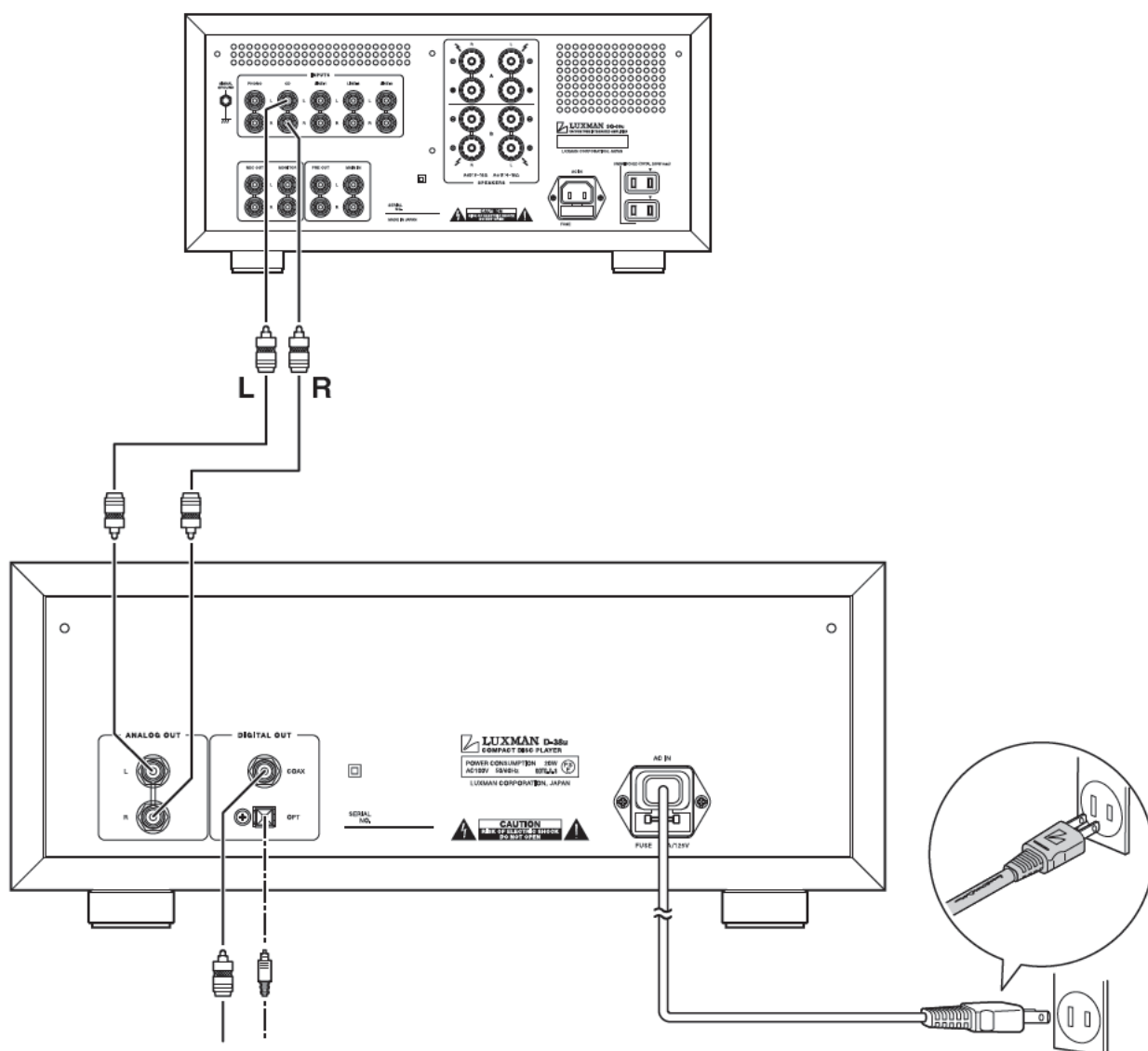
アンプのライン入力端子（CD、LINE など）に左右（L、R）2 本のピンプラグケーブルで接続してください。

このとき、左右（L、R）を逆に接続しないように十分注意してください。逆に接続すると音像定位が悪くなるなど正常なステレオ再生ができなくなります。また、ピンプラグケーブルのアース側が浮いているとハムなどの雑音が発生し、S/N 比が悪化する原因となります。接続プラグは確実に押し込んで接続してください。

アンプへの接続（デジタル出力）

デジタル入力端子のある D/A コンバーターやデジタルアンプなどと接続するときは、同軸デジタルケーブル、または光デジタルケーブルを使って接続します。

プリメインアンプ等



D/Aコンバーターやデジタルアンプの
デジタル入力端子へ

操作方法

操作する前に

1. 接続が確実に行われているか確認してください。(L, Rの接続の誤りがあると正常な再生ができません。)
2. オペレーション・スイッチ (OPERATION) を押します。
スタンバイ・インジケータ (stand by) が点滅から消灯に変わるまで、接続したアンプの音量を最小にしておいてください。本機にステレオ・ヘッドフォンを接続している場合は、ヘッドフォン・ボリューム (volume) を絞っておいてください。

コンパクト・ディスク (CD) のセットの仕方

1. オープン / クローズ・スイッチ (Ⓐ) を押してディスクテーブルを開きます。
 2. コンパクト・ディスク (CD) をレーベルの印刷されている面を上にして、テーブルのガイドに合わせて置きます。
 3. オープン / クローズ・スイッチ (Ⓐ) を押してディスクテーブルを閉じます。
- ※ コンパクト・ディスク (CD) がセットされると、ディスクの情報が読み取られ、ディスプレイに総トラック数と総再生時間が表示されます。

通常の再生

ディスクがセットされた後、プレイ・スイッチ (▷) を押すと、ディスクの1トラック目から再生が開始されます。最後のトラックの再生が終了すると自動的に再生は停止します。

プログラム再生

リモコンを使って、ディスク中のトラックを自分の好きな順序で再生することが出来ます。

1. 停止中にプログラム・スイッチ (PROG) を押すと、ディスプレイに“PROGRAM”、“EDIT” 及び “00 P-00” と表示されます。“P” の前の2ケタの数字はこれから選択するトラックを表し、“P” の後ろの2ケタの数字はすでに選択した総トラック数を表します。
2. 数字キー (1 ~ 9, 0) を押して、プログラムしたいトラックを選択します。
3. 再度プログラム・スイッチ (PROG) を押すと選択したトラックと順番を保存し、ディスプレイにプログラムされた番号が表示されます。
4. さらに別のトラックをプログラムするためには2 ~ 3の作業を繰り返します。合計30トラックまでプログラムすることができます。
5. プレイ・スイッチ (▷) を押すとプログラムした順にプログラム再生が始まります。
6. 編集中に“0”のスイッチを押すと自動的に内容がキャンセルされます。
7. 編集内容を訂正したい場合は、再生の停止状態で、すでに編集したプログラムが表示されるまでプログラム・スイッチ (PROG) を必要な回数押してから内容を訂正し、最後にプログラム・スイッチ (PROG) を押すと訂正が完了されます。

その他の再生

通常以外の様々な再生方法については 7、8 ページの各スイッチの機能説明をご覧ください。

出力切替

本機のアナログ出力は、お好みによって真空管を使用した回路と、半導体を使用した回路を出力切替スイッチ (output) で選択することが出来ます。

真空管 (vacuum tube) :

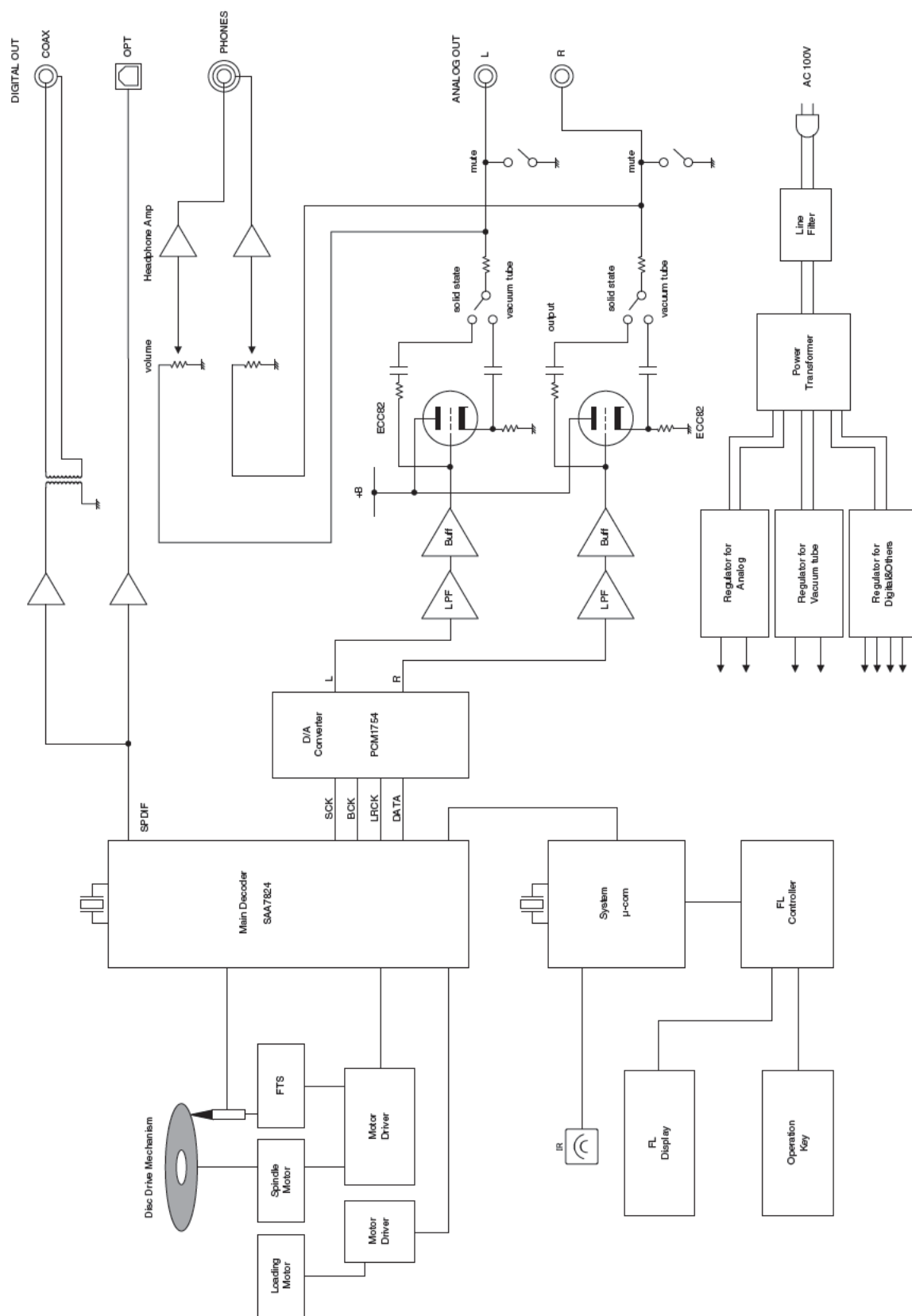
出力バッファーに真空管 ECC82 (12AU7) を使用した回路の出力を選びます。

半導体 (solid state) :

出力バッファーに半導体 (IC アンプ) を使用した回路の出力を選びます。

出力切替はディスクの再生中でも随時可能ですが、両回路の音の違いをじっくりと楽しんでいただくためには、トラックの頭 (曲の開始時) での切替をおすすめします。

ブロックダイアグラム



対応ディスク	コンパクトディスク・デジタルオーディオ	
量子化ビット数	16 ビット	
サンプリング周波数	44.1 kHz	
チャンネル数	2 (ステレオ)	
周波数特性	4Hz ~ 20kHz	
全高調波歪率	0.004% 以下 (1kHz)	
ダイナミックレンジ	95dB 以上	
S/N 比	95dB 以上 (IHF-A 補正)	
アナログ出力レベル	2.0V	
アナログ出力	アンバランス (RCA) 1 系統、ヘッドフォン 1 系統 (音量調節可)	
デジタル出力	光 (TOS-LINK)、同軸 (RCA) 各 1 系統	
使用真空管	ECC82 (12AU7) × 1 本	
付属品	<ul style="list-style-type: none"> ・ リモコン (RA-N3) ・ 端子保護キャップ ・ 保証登録書 ・ 電源ケーブル (JPA-10000) ・ 取扱説明書 ・ 安全上のご注意 	
電源電圧	AC 100V (50/60Hz)	
消費電力	20W (電気用品安全法)、0.1W (スタンバイ時)	
外形寸法	400 (W) × 168 (H) × 280 (D) mm (奥行きは端子 / ノブを含まず)	
重量	9.0kg	

※規格および外観は予告なく変更することがあります。

アフターサービスと品質保証について

ラックスマンのオーディオ製品には、個々のパーツの選択から製造工程、出荷にいたるまで、数多くの厳しいチェックを施し、万全の品質管理を期していますが、万一本機が故障したときは弊社サービス・センターまたはお求めの専門店までご連絡ください。状況に応じた出張修理または持ち込み修理をさせていただきます。なお、遠隔地の場合は修理品のご送付をお願いすることもあります。ご容赦ください。

本機の保証期間は購入日より起算して2年間（ただし、レーザーピックアップや真空管などの消耗品は1年間）です。この期間中に発生した自然故障は一切弊社の責任において無料修理させていただきます。保証登録書は、本機の梱包箱内に入っていますので、お買い上げ販売店で、販売年月日、店名の記入捺印を受けた上、弊社に送付してください。保証期間内の修理お申しつけの節は必ず弊社発行の保証書を添えてください。保証期間外、保証書がない場合の修理については実費でお引き受けします。

ご使用中に、何らかの原因で故障と間違えることがあります。修理に出される前に下記の表、および併用機器の取扱説明書をご覧のうえ、ひと通り確認してください。故障の原因がわからない場合は、お買い上げの販売店、もしくは弊社サービス・センターへお問い合わせください。なお、修理の依頼をお受けした場合は、故障でなくとも点検代、出張費などをいただくことがあります。

症 状	原 因	対 策
電源が入らない。	・電源プラグがコンセントから外れているか、確実に差し込まれていない。	・電源プラグをコンセントへ確実に差し込む。
	・電源プラグが AC インレットから外れているか、確実に差し込まれていない。	・電源プラグを AC インレットへ確実に差し込む。
再生できない、音が飛ぶ、またはディスクテーブルが出てきてしまう。	・コンパクト・ディスクが逆にセットされている。	・コンパクト・ディスクはレーベル面を上にしてテーブルに載せる。
	・ディスクがディスクテーブルに正しくセットされていない。	・ディスクをディスクテーブルに正しくセットする。
	・ディスクが汚れている。	・ディスクをクリーニングする。
	・本機の内部が結露している。	・本機の内部の結露を除去する。
	・本機に振動が加わっている。	・本機に振動を加えない。
	・水平でないところに設置されている。	・本機を水平な場所に設置する。
再生はするが左右チャンネルとも音が出ない。	・CD ミュート状態になっている。	・リモコンの CD ミュート・スイッチ (CD MUTE) を押して、ミュートを解除する。
	・アンプのボリュームが最小の位置になっている。	・アンプのボリュームを右にまわして音量を調節する。
	・アンプのインプット・セレクターが再生するソースの位置にセットされていない。	・アンプのインプット・セレクターを再生するソースの位置にセットする。
	・接続ケーブルの接続が不完全。	・接続ケーブルを確実に接続する。
片側だけ音が出ない。	・接続ケーブルの片側だけが接続されていない。	・接続を確実にこなう。
リモコン操作ができない。	・リモコンの仕様範囲外で操作している。	・リモコンの使用範囲内で操作する。
	・リモコンの電池が消耗している。	・リモコンの電池を新しいものと交換する。

